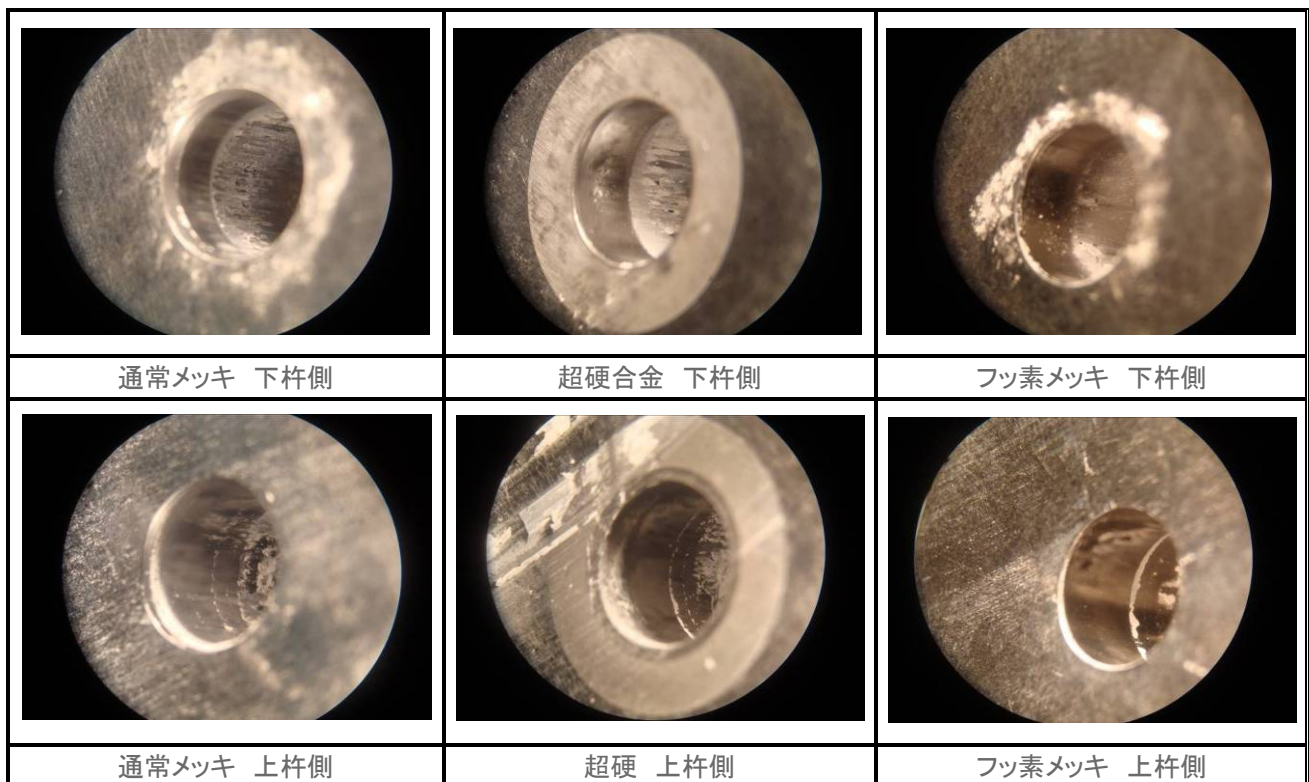


イブプロフェン+マンニトール+アイロジル 高打圧打錠試験

| | |
|------|---|
| 目的 | マンニトール含有量を増加させ、付着量の変化を観察する。 |
| 使用薬剤 | イブプロフェン30%・マンニトール70%・アイロジル0, 5% |
| 使用臼 | 通常メッキ・超硬合金・フッ素複合メッキ 以上3種類 |
| 打錠時間 | 25分 |
| 回転数 | 40rpm |
| 打圧 | 本圧上ロール 500kgf 本圧下ロール 460kgf 予圧上ロール 50 予圧下ロール 80kgf 押上圧力 16kgf 錠剤硬度 60~65N |
| 試験方法 | ①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて打錠面を観察する |

臼の打錠試験後の写真



結 果

- ◆ 通常メッキ
下杵側・上杵側共に、中心部全体に強い膜状の付着が発生している。
- ◆ 超硬合金
下杵側・上杵側共に、中心部全体に強い膜状の付着が発生している。
メッキと比較すると、下杵側の付着が強い。
- ◆ フッ素複合メッキ
下杵側には、中心部全体に薄い膜状の付着が発生している。
上杵側には、中心部に線状の付着が発生している。
他の臼と比較すると、中心部の付着が下杵側・上杵側共に少ない。